品川区立第三日野小学校
おやじの会

おやじ通信

平成24年9月9日　おやじ新聞47
発行：おやじの会 会長　坂東　聡
第三日野小 校長　甲斐正教

夏の終わりと秋の訪れを告げる「目黒のさんま祭り」。第17回目となる今年も盛大に開催され、焼き手として６年連続で参加させて頂くことができました。お天気にも恵まれ、年に一度の楽しい一時、また、久しぶりの再会の場でもあります。それぞれが、それぞれの秋を楽しみました。

目黒のさんま祭り参加（9月9日）

今年は、三日野小現役おやじに加え、OBおやじ、大井第一小おやじ、佼成学園おやじなど、様々な立場から24名のおやじが参加し、地元のスターバックスや資生堂のスタッフの皆さんと一緒に3台の焼き台を担当させて頂きました。今年も岩手県宮古市から7,000匹のさんまが寄せられ、1,000匹が生さんまとして配られ、残りは塩焼きとして振る舞われました。

50匹ずつ詰められた箱

栃木塩原産の大根　→　おろし

炭は和歌山県産

先頭に並んでいたお客様は、前日の21時頃から待っていたそうです。6時の時点で約50人、8時頃から並んだ方は2時間30分待ち、最長で5時間待ったという方もいらっしゃいました。
食べ終わった後に、後ろから『ご馳走様でした！』『美味しかったです！』と声を掛けて下さる方もたくさんいらっしゃいます。その言葉が、我々おやじたちの元気の素です。

早朝からできた行列

煙に巻かれるおやじたち

焼いたさんまは???本

甲斐校長、宮崎副校長、柴田先生が、缶ビールをたくさん持って応援に来て下さいました。タイミングも良く、まさに『命の水』です。

左は準備完了のおやじたち、右は達成感溢れるおやじたち。今年もスダチ大使の皆さんとともに、お疲れ様でした！

《編集後記》

またまた楽しませて頂きました。６回連続のおやじもいれば、初めてのおやじもいる。三日野という公立小学校を通じて、同じ志を持てる人間の輪がどんどん広がっていくようです。10年後、20年後にも、みんなが集まって、想い出話をしながら、さんまを焼くのが楽しみです。　(文責山田)